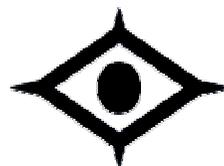




**KOBELCO**

# 2005年度 中間決算について

2005年11月1日



株式会社 **神戸製鋼所**

**KOBELCO**  
◆ KOBELCO STEEL, LTD.

# 報告事項

## 1.2005年度の概要

## 2.補足説明

- ・2005年度中間決算について
- ・2005年度見通しについて

## 3.質疑応答



# 1. 2005年度の概要



# 2005年度 上期実績

(単位:億円)

	上期 実績	(前回) 見通し	差異
売上高	7,895	7,900	5
営業利益	1,082	1,010	72
経常利益	854	750	104
特別損益	186	180	6
当期利益	367	280	87



# 2005年度 業績見通し

(単位:億円)

	2005年度見通し			(前回) 見通し	差異
	上期	下期	年度		
売上高	7,895	8,705	16,600	16,400	200
営業利益	1,082	1,048	2,130	2,060	70
経常利益	854	796	1,650	1,550	100
特別損益	186	4	190	180	10
当期利益	367	433	800	750	50



# 05年度)セグメント別営業利益

(単位:億円)

	2005年度見通し			(前回) 見通し	差異
	上期	下期	年度		
鉄鋼関連事業	689	611	1,300	1,270	30
電力卸供給関連事業	83	107	190	190	0
アルミ・銅関連事業	122	78	200	210	10
機械関連事業	31	79	110	110	0
建設機械関連事業	36	49	85	65	20
不動産関連事業	13	27	40	30	10
電子材料その他	84	86	170	160	10
消 去	20	15	35	25	10
合 計	1,082	1,048	2,130	2,060	70



# セグメントの概況 【鉄鋼】

(単位:億円)

	2005年度見通し			(前回)見通し	差異
	上期	下期	年度		
売上高	3,663	3,987	7,650	7,700	50
営業利益	689	611	1,300	1,270	30

- ・自動車、造船等国内製造業向けは旺盛な需要が継続。
- ・汎用品の需給バランス悪化に対応するべく上期10万トン減産。  
(輸出HOT・線材中心)
- ・10～12月も減産体制を継続。(国内・輸出とも)



ECO WAY

KOBELCO

## 当社の生産・販売状況

		2004年度			2005年度
		上期	下期	年度	上期
全国粗鋼	(万 t)	5,638	5,652	11,290	5,679
全国在庫水準	(万 t)	539	526	-	574
国内自動車生産台数	(万台)	513	549	1,062	519
<b>&lt; 当社 &gt;</b>					
粗鋼生産	(万 t)	380	391	771	383
鋼材販売量	(万 t)	324	343	667	334
(内 国内)		(243)	(259)	(502)	(264)
(内 輸出)		(81)	(84)	(165)	(69)
鋼材販売単価	(円/ t)	53,500	60,900	57,300	71,300
鋼材輸出比率	(金額ベース)	26.9%	27.0%	27.0%	23.7%
	(数量ベース)	24.9%	24.5%	24.7%	20.8%

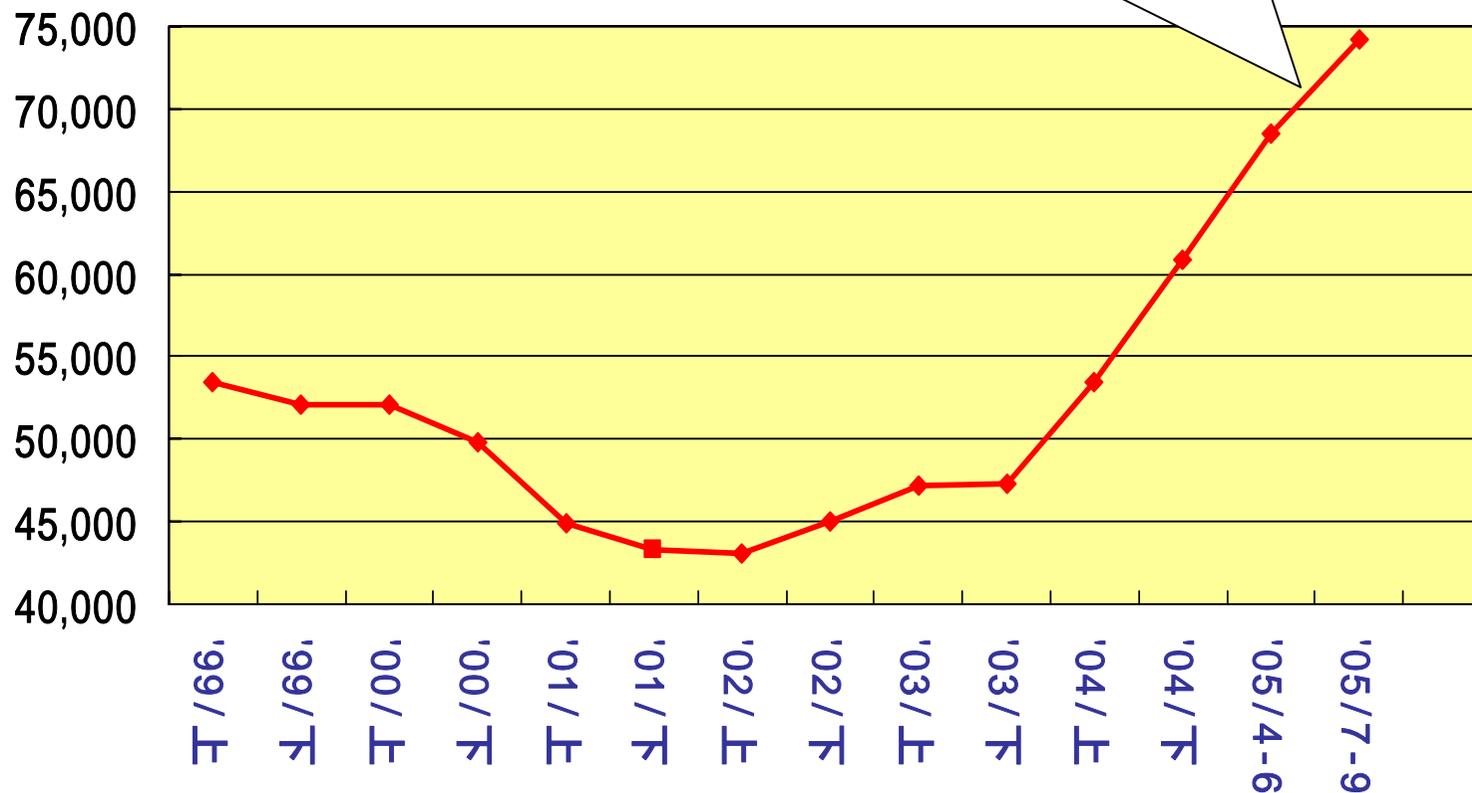


ECO WAY

# 鋼材単価の推移

対 04下比 + 10,400円/t  
 ( 04下平均60,900円/t  
 05上平均71,300円/t)

(単位:円/t)





# セグメントの概況 【電力卸供給】

(単位:億円)

	2005年度見通し			(前回)見通し	差異
	上期	下期	年度		
売上高	310	340	650	660	10
営業利益	83	107	190	190	0

・鉄鋼とともに、上期にユーティリティー関連設備の一斉点検を実施。



# セグメントの概況 【アルミ・銅】

(単位:億円)

	2005年度見通し			(前回)見通し	差異
	上期	下期	年度		
売上高	1,524	1,376	2,900	2,900	0
営業利益	122	78	200	210	10

- ・原油価格の上昇により燃料コストが増加。  
省エネ対策、燃料転換の検討を開始。
- ・アルミ圧延品需要は、自動車向け・ディスク材が引き続き堅調。
- ・銅圧延品需要は、自動車用端子材が引き続き堅調。  
半導体向けは調整局面を脱出するも、本格回復には至らず。



# 需要動向と当社販売状況

摘 要	' 0 4 年度実績		' 0 5 年度見通し	
	上 期	年 度	上 期	年 度
軽圧品需要(千トン)	1,242	2,441	1,187	2,367
アルミ板	723	1,399	680	1,342
アルミ押出	519	1,042	507	1,025
内 缶材(千トン)	245	439	238	432
伸銅品需要(千トン)	337	656	323	640
板 条	238	468	233	468
銅 管	99	188	90	172
エアコン内需(万台)		696		680

## < 当社の販売状況 >

アルミ圧延品国内(千トン)	150	278	149	282
輸出(千トン)	41	78	26	53
銅板条(千トン)	31	62	31	62
銅管(千トン)	49	90	43	81



# セグメントの概況 【機械】

(単位:億円)

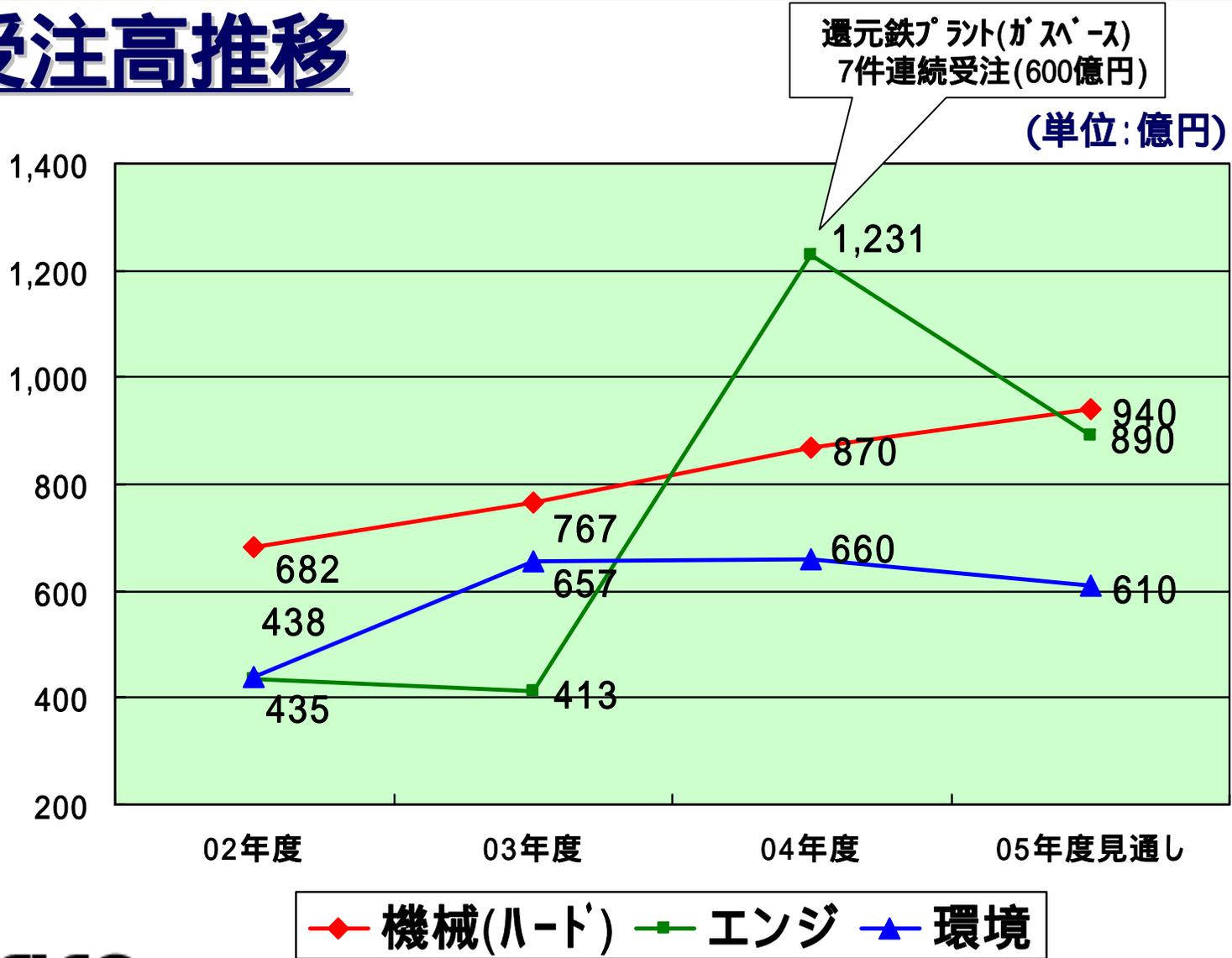
	2005年度見通し			(前回) 見通し	差異
	上期	下期	年度		
売上高	1,138	1,562	2,700	2,650	50
営業利益	31	79	110	110	0
受注高	1,103	1,337	2,440	2,150	290

**ハード** :石油化学/電力・エネルギー等の分野で設備投資が活発化。  
大型圧縮機、樹脂機械等の受注が引き続き好調。

**エンジニアリング** :リアクターやLNG機器等エネルギー関連機器の受注が  
引き続き好調。

製鉄エンジニアリングは、昨年度受注プラントの建設を着実に実行。

# 受注高推移





# セグメントの概況 【建設機械】

(単位:億円)

	2005年度見通し			(前回)見通し	差異
	上期	下期	年度		
売上高	1,063	1,137	2,200	2,050	150
営業利益	36	49	85	65	20

- ・国内、海外需要ともに好調に推移。
- ・製品価格の値上げも市場に浸透。



# 需要動向

(単位:台)

## 【ショベル需要】

	04年度実績		05年度見通し		05年度 見通し 前回
	上期	年度	上期	年度	
国内	12,515	25,520	13,647	27,040	26,664
中国	20,428	25,639	14,705	25,000	25,000



## セグメントの概況 【電子材料その他】

(単位:億円)

	2005年度見通し			(前回) 見通し	差異
	上期	下期	年度		
売上高	282	318	600	540	60
営業利益	84	86	170	160	10

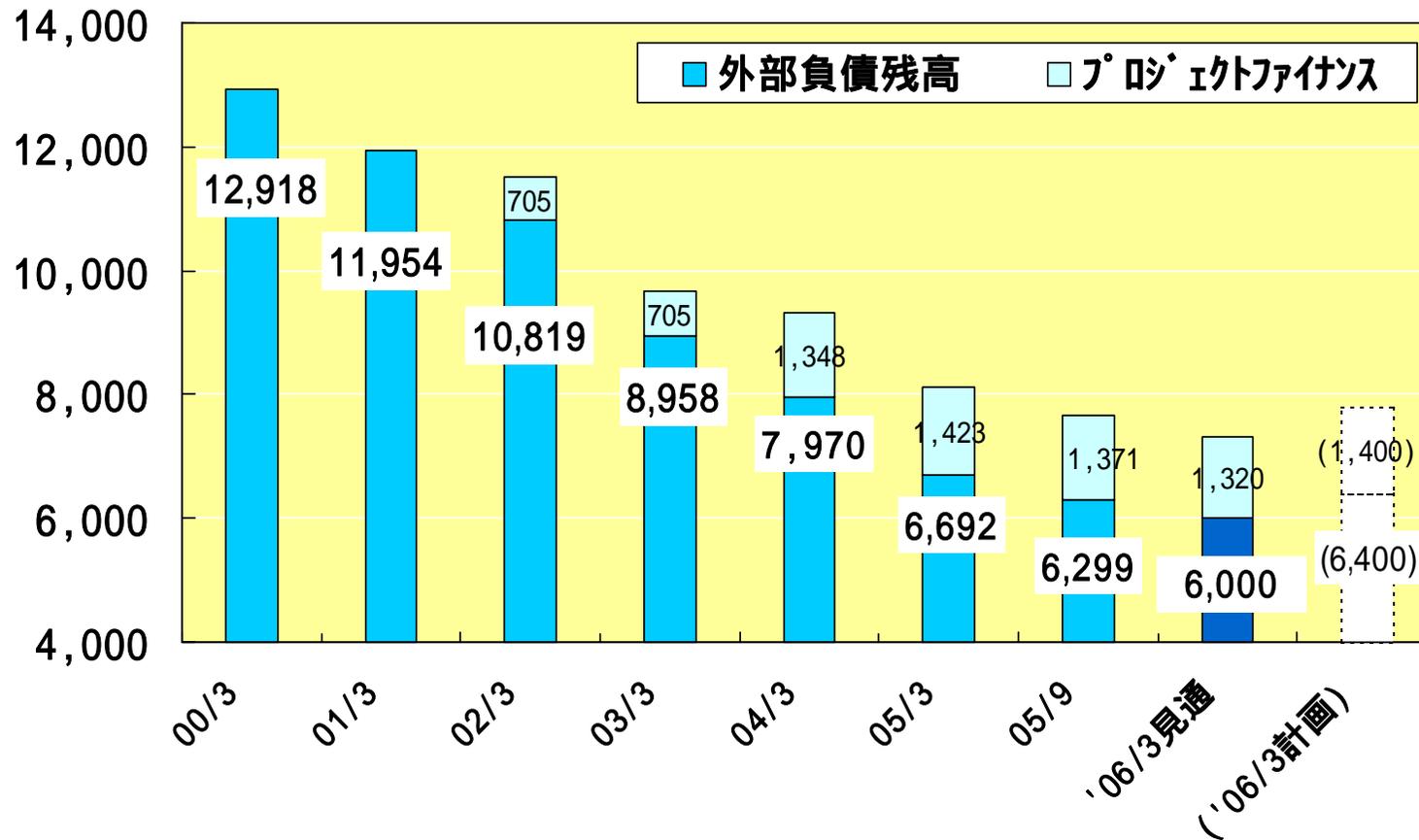
・液晶パネル配線膜用ターゲット材の需要は順調に拡大。



ECOWAY

# 外部負債残高

(単位: 億円)



# 株主資本の状況

(単位:億円)

	03年度 末	04年度 末	05年度 上期末	
資本金	2,181	2,181	2,183	} <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3,958</span> (当社基準)
資本剰余金	679	679	681	
利益剰余金	317	816	1,094	
株式評価差額金	210	254	488	
<u>為替換算調整等</u>	<u>86</u>	<u>138</u>	<u>115</u>	
資本の部合計	3,301	3,792	4,331	(表面)

**D/E レシオ(当社基準)04年度末 : 1.8倍    05年度上期 : 1.6倍**  
**(表 面 )04年度末 : 1.8倍    05年度上期 : 1.5倍**



# 選別的成長戦略

部 門	案 件	稼 動 時 期	効 果	備 考
鉄 鋼	加古川) 2号高炉改修	07年	生産の上方弾力性確保 コストダウン	2004年度
	加古川) 溶融亜鉛めっきライン 改造	05年	高級ハイテンの製造能力向上	
	神 戸) ブルーム連続鑄造機新設	06年	特殊鋼の品質向上	2004年度
	神 戸) 3号高炉改修	07年		
	茨 木) 溶接材料製造能力増強	05年	造船等の需要拡大への対応	
	中 国) 自動車用特殊鋼線材加工 拠点設立 (広東省)	06年	特殊鋼線材の供給体制強化	2004年度
	中 国) 自動車懸架ばね用 特殊鋼線材加工拠点設立 (江蘇省)	06年		



# 選別的成長戦略

部門	案 件	稼動時期	効 果	備 考
アルミ銅	米 国) 自動車用アルミ鍛造品能力増強	07年	自動車足回り部品のアルミ化加速に対応	大安) 鑄造プレス新設(2004年)
	マレーシア) ディスク研磨能力増強	06年	HDD需要拡大への対応	
	真 岡) 冷間圧延機劣化更新及び高速化	07年	自動車パネル材等の需要拡大への対応	熱間圧延機モータ更新(2004年)
	長 府) 銅板条冷間圧延機更新	07年	電子材料分野での品質向上	
	中 国) 電子材料用銅板材加工拠点設立(江蘇省)	06年	中国での市場拡大への対応	
機 械	中 国) 汎用圧縮機製造拠点本格稼動(上海)	05年	中国での市場拡大への対応	
	千 葉) 塩ビ・リサイクルプラント建設	06年	ソリューション事業の強化	
建設機械	中 国) 中国第二工場本格稼動(杭州)	05年	中国での市場拡大への対応	
電子材料他	高 砂) ターゲット材能力増強	05年	液晶パネルの需要拡大への対応	



## 2. 補足説明



# 2005年度中間決算 について



# 2005年度 上期実績

(単位:億円)

	2004年度	2005年度上期		
	上期	前回	実績	差異
売上高	6,847	7,900	7,895	5
営業利益	673	1,010	1,082	72
經常利益	451	750	854	104
特別損益	102	180	186	6
当期利益	156	280	367	87



# 上期)セグメント別売上高

(単位:億円)

	2004年度 上期実績	2005年度上期見通し		
		前回	今回	差異
鉄鋼関連事業	2,940	3,700	3,663	37
電力卸供給関連事業	274	320	310	10
アルミ・銅関連事業	1,459	1,500	1,524	24
機械関連事業	919	1,150	1,138	12
建設機械関連事業	1,065	1,050	1,063	13
不動産関連事業	169	150	172	22
電子材料その他	252	240	282	42
消去	234	210	259	49
<b>合 計</b>	<b>6,847</b>	<b>7,900</b>	<b>7,895</b>	<b>5</b>



# 上期)セグメント別営業利益

(単位:億円)

	2004年度 上期実績	2005年度上期見通し		
		前回	今回	差異
鉄鋼関連事業	349	650	689	39
電力卸供給関連事業	96	100	83	17
アルミ・銅関連事業	84	110	122	12
機械関連事業	2	30	31	1
建設機械関連事業	44	30	36	6
不動産関連事業	16	10	13	3
電子材料その他	64	75	84	9
消去	15	5	20	15
<b>合 計</b>	<b>673</b>	<b>1,010</b>	<b>1,082</b>	<b>72</b>



# 全社経常利益差異【05上期見通し 前回 実績】

(単位:億円)

	2005年度前回			2005年度今回		
	上期	下期	計	上期	下期	計
経常利益	750	800	1,550	854	796	1,650
				+104		

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 20	固定資産廃却・解体	10
鉄鋼原料価格	+ 40	為替影響	5
総コスト削減	+ 5		
連結子会社・持分法	+ 45		
その他	+ 9		
合計	+ 119	合計	15



# 鉄鋼)営業利益差異内訳

## 【05上期見通し 前回 実績】

(単位:億円)

	2005年度前回			2005年度今回		
	上期	下期	計	上期	下期	年度
営業利益	650	620	1,270	689	611	1,300
				+39		

増益要因		減益要因	
原料価格	+ 40	為替影響	5
総コスト削減	+ 5	その他	1
合計	+ 45	合計	6



# 全社経常利益差異内訳【04下期 05上期】

(単位:億円)

	2004年度実績			2005年度見通		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	451	709	1,160	854	796	1,650
				+145		

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+300	鉄鋼原料価格	205
総コスト削減	+ 45	為替影響	15
固定資産廃却・解体+	10	設備保全	5
連結子会社・持分法+	5		
その他	+ 10		
合計	+ 3 7 0	合計	2 2 5



# 鉄鋼)営業利益差異内訳【04下期 05上期】

(単位:億円)

	2004年度実績			2005年度見通		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
営業利益	349	569	918	689	611	1,300

└──+120──┘

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+310	原料価格	205
総コスト削減	+ 35	為替影響	15
その他	+ 5	設備保全	5
		一時金影響	5
合計	+ 3 5 0	合計	2 3 0



# 全社経常利益差異内訳【04上期 05上期】

(単位:億円)

	2004年度実績			2005年度見通		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	451	709	1,160	854	796	1,650
				+403		

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+640	鉄鋼原料価格	265
総コスト削減	+70	増産対応・設備保全	40
連結子会社・持分法	+70	一時金影響	35
		固定資産廃却・解体	25
		その他	12
合計	+ 7 8 0	合計	3 7 7



# 鉄鋼)営業利益差異内訳【04上期 05上期】

(単位:億円)

	2004年度実績			2005年度見通		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
営業利益	349	569	918	689	611	1,300

+340

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+600	原料価格	265
総コスト削減	+ 55	増産対応・設備保全	40
		一時金影響	10
合計	+ 6 5 5	合計	3 1 5



**KOBELCO**

# 2005年度見通し について



# 2005年度 業績見通し

(単位:億円)

	2004年度	2005年度見通し		
	実績	前回	今回	差異
売上高	14,437	16,400	16,600	200
営業利益	1,665	2,060	2,130	70
経常利益	1,160	1,550	1,650	100
特別損益	213	180	190	10
当期利益	512	750	800	50



# '05年度)セグメント別売上高

(単位:億円)

	2004年度 実績	2005年度見通し		差異
		前回	今回	
鉄鋼関連事業	6,313	7,700	7,650	50
電力卸供給関連事業	586	660	650	10
アルミ・銅関連事業	2,829	2,900	2,900	0
機械関連事業	2,268	2,650	2,700	50
建設機械関連事業	2,066	2,050	2,200	150
不動産関連事業	324	450	450	0
電子材料その他	540	540	600	60
消去	491	550	550	0
<b>合 計</b>	<b>14,437</b>	<b>16,400</b>	<b>16,600</b>	<b>200</b>



# 05年度)セグメント別営業利益

(単位:億円)

	2004年度 実績	2005年度見通し		
		前回	今回	差異
鉄鋼関連事業	918	1,270	1,300	30
電力卸供給関連事業	194	190	190	0
アルミ・銅関連事業	169	210	200	10
機械関連事業	103	110	110	0
建設機械関連事業	72	65	85	20
不動産関連事業	30	30	40	10
電子材料その他	140	160	170	10
消去	36	25	35	10
<b>合 計</b>	<b>1,665</b>	<b>2,060</b>	<b>2,130</b>	<b>70</b>



# 全社經常利益差異内訳

## 【05年度見通し 前回 今回】

(單位: 億円)

	2005年度前回			2005年度今回		
	上期	下期	計	上期	下期	計
經常利益	750	800	1,550	854	796	1,650



増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 15	固定資産廃却・解体	20
鉄鋼原料価格	+ 40	設備保全	15
連結子会社・持分法	+ 95	為替影響	15
合計	+ 150	合計	50



# 鉄鋼)営業利益差異内訳

## 【05年度見通し 前回 今回】

(単位:億円)

	2005年度前回			2005年度今回		
	上期	下期	計	上期	下期	計
営業利益	650	620	1,270	689	611	1,300
				+30		

増益要因		減益要因	
原料価格	+ 40	設備保全	15
総コスト削減	+ 5	為替影響	25
その他	+ 25		
合計	+ 70	合計	40



# 全社経常利益差異内訳 【05年度上期 下期】

(単位:億円)

	2004年度実績			2005年度見通		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	451	709	1,160	854	796	1,650
				└	58↑	

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 40	鉄鋼原料価格	160
固定資産廃却・解体	+ 15	設備保全	10
連結子会社・持分法	+ 60	その他	3
合計	+ 115	合計	173



# 鉄鋼)営業利益差異内訳 【05年度上期 下期】

(単位:億円)

	2004年度実績			2005年度見通		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
営業利益	349	569	918	689	611	1,300
				└	78	┘

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 50	原料価格	160
総コスト削減	+ 5	設備保全	10
その他	+ 42	為替影響	5
合計	+ 97	合計	175



# 全社経常利益差異内訳 【04年度 05年度】

(単位:億円)

	2004年度実績			2005年度見通		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	451	709	1,160	854	796	1,650

*+490*

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+1,040	鉄鋼原料価格	630
総コスト削減	+90	増産対応・設備保全	55
連結子会社・持分法	+130	一時金影響	60
		固定資産廃却・解体	10
		為替影響	10
		その他	5
合計	+ 1,260	合計	770



# 鉄鋼)営業利益差異内訳 【04年度 05年度】

(単位:億円)

	2004年度実績			2005年度見通		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
営業利益	349	569	918	689	611	1,300
				+382		

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+1,000	原料価格	630
総コスト削減	+ 70	増産対応・設備保全	55
その他	+ 17	為替影響	20
合計	+ 1,087	合計	705



# '05年度)特別損益見通し

(単位:億円)

	2004年度 実績	2005年度見通し		差異
		前回	今回	
退職給付過去勤務債務償却	69			0
投資有価証券売却	26			0
固定資産売却益	26			0
退職給付会計変更時差異	127			0
たな卸評価損	109			0
固定資産減損処理	90			0
固定資産売却損	9			0
不動産事業分割関連損失		140	141	1
災害損失		40	45	5
<b>合 計</b>	<b>213</b>	<b>180</b>	<b>190</b>	<b>10</b>



# 単独 連結差異内訳

(単位: 億円)  
差 異

	2004年度		2005年度				対04年度	
	経常 損益	当期 損益	上期実績		年度見通し		経常	当期
			経常	当期	経常	当期		
単 独 損 益	678	310	603	223	1,050	500	372	190
連 結								
連結子会社損益	448	234	255	135	590	300	142	66
持分法損益	100	100	50	50	90	90	10	10
配当金	55	55	69	69	70	70	15	15
その他	11	77	15	28	10	20	1	57
合計	482	202	251	144	600	300	118	98
連 結 損 益	1,160	512	854	367	1,650	800	490	288



# 中期経営計画の進捗状況

(単位:億円)

【経常利益】	03年度	04年度	05年度		中期計画 05年度
	実績	実績	上期実績	年度見通	
鉄鋼	320	780	610	1,180	500
アルミ・銅	50	95	80	100	80
機械	50	145	60	160	120
その他	87	140	103	210	100
<b>合計</b>	<b>507</b>	<b>1,160</b>	<b>853</b>	<b>1,650</b>	<b>800</b>
<b>【ROA】</b>					
鉄鋼	4.8%	10.1%	14.3%	13.3%	7%
アルミ・銅	4.2%	5.9%	8.3%	5.9%	5%
機械	1.6%	4.0%	3.0%	4.2%	4%
<b>合計</b>	<b>4.0%</b>	<b>7.4%</b>	<b>9.8%</b>	<b>9.3%</b>	<b>6%</b>



# 設備投資の状況

(単位：億円)

	2003年度 実績	2004年度 実績	2005年度 今回見通	03-05 累計	2005年度 前回見通
設備投資計上(IPP除く)	488	650	910	2,048	870
対減価償却費	67%	96%	135%	98%	127%
" (IPP)	561	10	0	571	0
" (IPP含む)	1,049	660	910	2,619	870
(中期計画)	(980)	(450)	(450)	(1,880)	

減価償却費(IPP除く)	732	678	675	2,085	685
" (IPP)	69	124	125	318	125
" (IPP含む)	792	802	800	2,394	810



# 事業部門別設備投資-計上

(単位:億円)

	2004年度		2005年度		差異 -
	上期	年度	上期	年度	
鉄 鋼	131	371	199	530	159
I P P	10	10	0	0	10
アルミ・銅	48	135	55	180	45
機 械	43	90	60	100	10
その他	22	54	33	100	46
合 計	254	660	347	910	250



# 事業部門別減価償却費

(単位:億円)

	2004年度		2005年度		差異 -
	上期	年度	上期	年度	
鉄 鋼	209	415	202	390	25
I P P	62	124	62	125	1
アルミ・銅	69	136	66	135	1
機 械	43	87	42	80	7
その他	22	40	20	70	30
合 計	405	802	392	800	2



# ‘05年度) フリーキャッシュフロー-見通し

(単位:億円)

	2004年度	2005年度		差異
	実績	上期 実績	年度 見通し	対04年度
営業キャッシュフロー	2,055	931	1,680	375
投資キャッシュフロー	452	385	950	498
フリーキャッシュフロー	1,603	546	730	873
IPP含む フリーキャッシュフロー	1,752	663	970	782

# 要員推移

	2004年度		2005年度		(単位:人)
	上期	年度	上期	年度	差異
連結要員	27,122	27,067	28,481	28,650	1,583
企画職	3,856	3,815	3,779	3,720	95
技術職	4,637	4,610	4,805	4,740	130
単独合計	8,493	8,425	8,584	8,460	35

# 機械関連事業の受注状況

## 受注高

(単位：億円)

	2004年度			2005年度
	上期	下期	年度	上期
国内	661	840	1,501	685
輸出	315	945	1,260	418
計	976	1,785	2,761	1,103

## 受注残高

	2004年度			2005年度
	上期末	下期末	年度末	上期末
国内	1,413	-	1,336	1,294
輸出	372	-	1,015	1,153
計	1,785	-	2,351	2,447



# <单独>部門別売上高

(単位:億円)

	2004年度		2005年度		差異 -
	上期	年度	上期	年度	
鉄鋼・溶接部門 (内 輸出)	2,525 (576)	5,431 (1,254)	3,204 (688)	6,600 (1,470)	1,169 (216)
アルミ・銅部門 (内 輸出)	1,108 (203)	2,161 (398)	1,148 (189)	2,200 (380)	39 (18)
機械部門 (内 輸出)	635 (181)	1,404 (436)	756 (270)	1,600 (670)	196 (234)
合 計 (内 輸出)	4,268 (960)	8,997 (2,088)	5,108 (1,147)	10,400 (2,520)	1,403 (432)

# <单独>部門別營業利益

(単位:億円)

	2004年度		2005年度		差異 -
	上期	年度	上期	年度	
鉄鋼・溶接部門	322	841	642	1,190	349
アルミ・銅部門	63	132	93	150	18
機械部門	19	83	36	60	23
合 計	404	1,057	773	1,400	343



# <单独>外部負債残高と金融収支

(単位:億円)

	2004年度		2005年度		差異
	実績		上期末	年度末	
外部負債残高	5,817		5,684	5,250	567

	2004年度		2005年度		差異
	上期	年度	上期	年度	
受取利息・配当金	65	92	85	130	38
支払利息	85	163	71	140	23
金融収支	20	71	14	10	61



# < 単独 > 為替バランス

	2004年度		2005年度	
	上期	下期	上期	下期
為替レート	110	105	109	110

(単位: 百万\$)

	2004年度		2005年度	
	上期	下期	上期	下期
輸出入バランス (ドル建て金額)	91	15	261	420
(連結ベース: 概算)	(100)	(166)	( 40)	( 200)

## 将来見通しに関する注意事項

- 本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。
- 上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいません。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。
  - 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
  - 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
  - 為替相場の変動
  - 原材料の Availability や市況
  - 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&Aなどの事業展開
  - 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化